

■平成26年度一般会計予算討論

様、約定を果たしていないので反対。

（賛成多数で可決）

予算総額は64億円1500万円（前年度比5800万円の減）。歳入については、大手企業の業績が改善される見込みから、町税が個人町民税2620万円増、法人町民税1530万円増。大手企業の設備投資により固定資産税3749万円増、地方交付税は500万円減。地方債は3億円です。
--

● 反対（名取武一）

平成26年度一般会計予算

は消費税増税が前提である。職員の皆様は限られた財源の中で町民の暮らしに豊かになるよう配慮されたものと敬服するが、本予算が4月から3%増税されることを加味した予算であることに反対。

○賛成（三井新成）

継続事業や新規事業において、財源を極力圧縮したことには賛成。子ども

課所管の放射能精密測定器の購入は賛成するが、行政として運用方法に的確な手法を考えるべき。

● 反対（佐久祐司）

一般財源からパノラマに多額な資金を繰り出すことに反対。個別の事業について評価するものは沢山あるが、歳出の中で商工費の割合が、他の自治体より高い。本格的な高齢化社会を迎えた現在、本当に投下すべき財源は商工費ではないと考える。

● 反対（宮下伸悟）

人口減少のピークへ向け、公共投資のストックの見直しは不可避。本年度から町営・公営住宅の統廃合に着手することを評価。

● 反対（平出隼仁）

一般会計の予算書を確認したが、パノラマスキー場の固定資産税の減免の適切な処理がなされていないため、前年度同様、約定を果たしていないので反対。

● 反対（佐久祐司）

パノラマスキー場経営健全化のため、一般会計より1億4000万円を繰入れるものです。

パノラマスキー場経営健全化のため、一般会計より1億4000万円を繰入れるものです。

● 反対（佐久祐司）

議案第12号（富士見町観光施設貸付事業特別会計への繰入について）

在、真に投下すべき財源は商工費ではないと考える。

● 反対（宮下伸悟）

パノラマはいざれ捨て去るものと多くの町民は考えており、いつか捨てることが出来るよう町民に大きな負担を求めてい

● 反対（平出隼仁）

パノラマ支援には多くの町民から反対の声が寄せられているので反対。

■平成26年度観光施設貸付事業特別会計予算討論

（採決の結果。賛成5、反対5の同数となり、地方自治法の規定による議長採決の結果、可決となりました。）

● 反対（小林市子）

観光施設特別会計の歳入として1億2300万円が計上されているが、本来、賃料収入として一般会計に計上されるもの。それが観光施設特別会計に歳入として計上されることは、道理が通らない。

● 反対（小池博之）

この会計からパノラマの黒字を声高に毎年発表しているが、賃料を返済した形にして継続的にパノラマへ支援をしている構図になっている。地方財政が逼迫した状況の中では、3セクの会計を再点検し、そのあり方も含め検討する必要がある。

● 反対（佐久祐司）

議案第12号（富士見町観光施設貸付事業特別会計への繰入について）で反対したので、同様に反対。

● 反対（宮下伸悟）

この会計からパノラマの黒字を声高に毎年発表しているが、賃料を返済した形にして継続的にパノラマへ支援をしている構図になっている。地方財政が逼迫した状況の中では、3セクの会計を再点検し、そのあり方も含め検討する必要がある。

採決結果（議案抜粋）

○賛成 ●反対

議会	議案	議員名	三	小	五	小	小	小	加	名
			井	池	味	林	池	池	々	取
3月定例会	権利の放棄について	○ ○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○
	税条例の一部改正	○ ○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度一般会計補正予算	○ ○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度一般会計予算	○ ○ ○ ○ ●	○	○	○	○	○	●	○	●
	平成26年度国民健康保険特別会計予算	○ ○ ○ ○ ○	○	○	○	○	○	○	○	●
	平成26年度観光施設貸付事業特別会計予算	○ ○ ○ ● ●	○	●	●	○	●	●	●	●